

# 「安全・安心をもたらす防災DX」

AIや通信技術などのデジタル革新は、災害対応をどう変えるのでしょうか？  
本シンポジウムでは、産官学民の共創による『防災DX』の最前線を紹介します。  
国家レベルの構想から、SNSやアプリを活用した情報発信、消防指揮の支援など、現場における革新まで、安全・安心な社会を築く取り組みに迫ります。  
技術の実装の現状や課題、そしてこれからの可能性について、参加者とともに考えます。

日 時

2026年3月3日(火)  
13:30～16:50

会 場

ビジョンセンター東京虎ノ門

5階会議室(501C)／オンライン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-4-7 (東京メトロ日比谷線・虎ノ門ヒルズ駅直結)

参 加  
無料

▶ 参加お申込みはこちから  
<https://forms.gle/DuZCpjAtCT3EFLaG6>  
申込締切 2026年3月2日(月)



## ■ プログラム

開会挨拶 13:30～13:35

寶 肇 氏 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム会長／防災科学技術研究所 理事長

第1部：講演 13:35～14:55

基調講演

「産官学民共創防災DXで目指す防災立国」

13:35-14:15

臼田 裕一郎 氏 防災科学技術研究所 社会防災研究領域長／総合防災情報センター長  
筑波大学 教授(協働大学院) AI防災協議会／防災DX官民共創協議会 理事長

話題提供 1

「インターネットサービスを活用した災害に負けない持続可能な社会の実現」

14:15-14:35

安田 健志 氏 LINEヤフー株式会社 サステナビリティ推進CBU CSRユニット 災害支援推進マネージャー

話題提供 2

「消防指揮を高度化する現場活動支援システム」

14:35-14:55

山田 晃久 氏 株式会社モリタホールディングス モリタATIセンター Eラボ長

第2部：パネルディスカッション 15:20～16:40

テーマ「安全・安心をもたらす防災DX」

登壇者：第1部講演者 井ノ口 宗成 氏 立命館大学 政策科学部 教授

モデレーター：岡島 敬一 氏 筑波大学 システム情報工学研究群長

総括・閉会挨拶 16:40～16:50

木村 玲欧 氏 巨大災害研究会 会長／兵庫県立大学 環境人間学部 教授



臼田 裕一郎 氏



安田 健志 氏



山田 晃久 氏



井ノ口 宗成 氏



岡島 敬一 氏

主 催



レジリエンス研究教育推進コンソーシアム、巨大災害研究会

後 援



問合せ先 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局(筑波大学システム情報エリア支援室) [r2ec-sec@risk.tsukuba.ac.jp](mailto:r2ec-sec@risk.tsukuba.ac.jp)

—— 本シンポジウムは、セコム科学技術振興財団「令和7年度 学術集会および科学技術振興事業助成」の支援を受けて開催されます。 ——